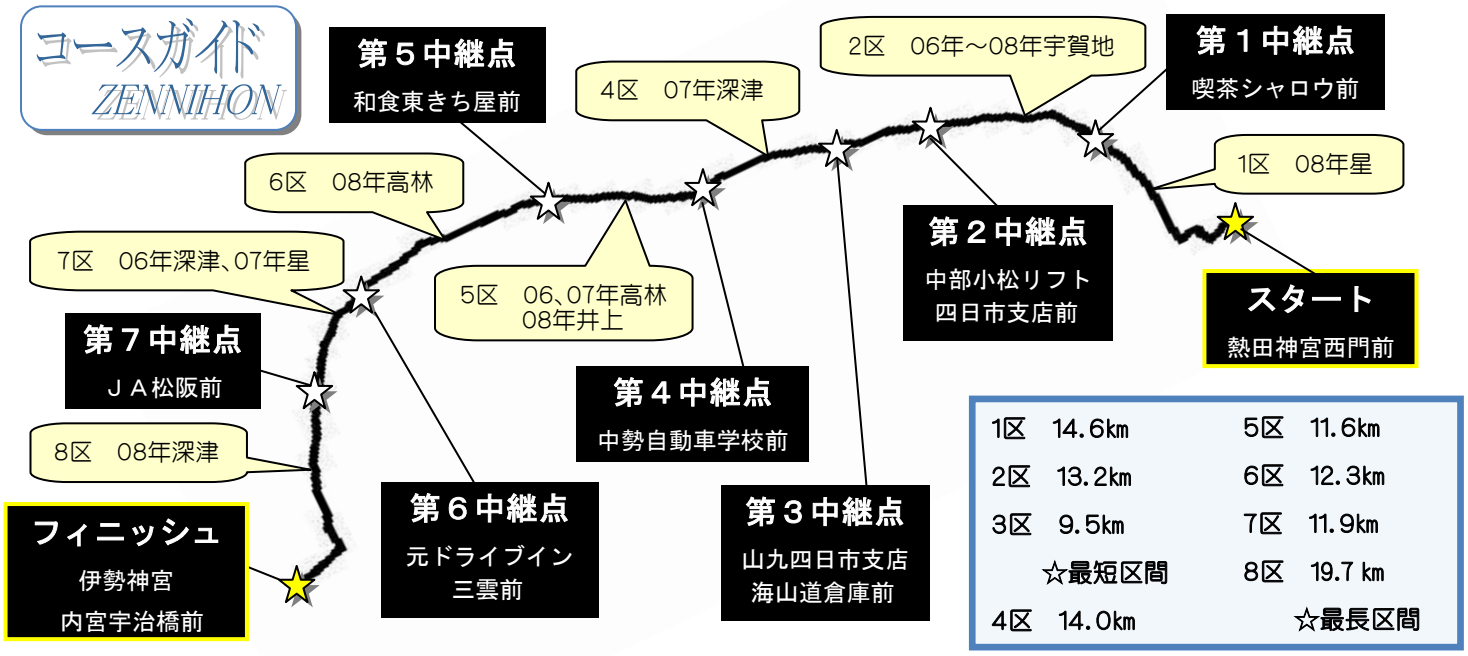

1区	14.6km	5区	11.6km
2区	13.2km	6区	12.3km
3区	9.5km	7区	11.9km
	☆最短区間	8区	19.7 km
4区	14.0km		☆最長区間

出雲駅伝

宇賀地初の区間賞も、チーム10位

第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会が10月12日、出雲大社と出雲ドームを結ぶ全6区間、44.5キロで行われた。

1区、主将の高林がスタートで出遅れ、11位でタスキをつなぐ。続く2区でも順位を落とし、3区宇賀地へは12位でタスキリレー。だが、ここで宇賀地は駅伝主将の意地を見せ、スピードある力走で一気に6位にまで急浮上する。

そのままの勢いで追い上げたいところだったが、4・5区で失速し再び11位に。最終6区、アンカーの1年・手塚が他大の有力選手にも劣らない力強い走りで巻き返しを図る。だが、大きく開いた差は縮まらず総合10位でフィニッシュ。

5日後に箱根駅伝予選会を控え、主力勢の起用を抑えて挑んだ今大会。好成績にはつながらなかったが、大八木弘明監督が「唯一の救い」と語った宇賀地の3大駅伝初の区間賞は、大きな弾みとなった。（矢端　希実子）

3大駅伝初の区間賞となった宇賀地（撮影・上田　将大）

◇個人成績◇

区	名前	区間／総合順位
1	髙林祐介（歴４）	11位／11位
2	馬越幹成（法２）	12位／12位
3	宇賀地強（法４）	１位／６位
4	岡本尚文（現２）	11位／８位
5	早瀬祐樹（歴３）	14位／11位
6	手塚佳宏（市１）	９位／10位

◇総合成績（上位10校まで）◇

優勝　日　大
2位　山梨学大
3位　東洋大

4位　早大
5位　中大
6位　立命館大
7位　第一工大
8位　京都産大
9位　大東大
10位　駒大☆

選手インタビュー

1区　高林祐介主将

「（今日の走り）は０点。主将として役割を果たせなかった。コンディションというより内容、チームの状況というより自分が悪かった」

2区　馬越幹成

「監督の指示通りできなかった。ダメだった。だけどいい経験になった。早くつなげようと思い、序盤気持ちが焦って力んでしまった」

3区　宇賀地強駅伝主将

「（区間賞は）人がいなかったから。ただもっと前に行きたかった。（総合10位は）いや、ダメでしょ。もっと上じゃなきゃうちじゃない」

4区　岡本尚文

「緊張はあった。でも実力不足が一番。気持ち的には行くぞという感じだったが、ダメで申し訳ない。今回色々学べたので今後につなげたい」

5区　早瀬祐樹

「力不足を改めて感じた。初の３大駅伝で力んでしまったのもあった。もっといい位置でタスキを渡したかったが悔いが残る結果になった」

6区　手塚佳宏

「最長距離だったので、前半を抑えてタスキをゴールまで無事に届けたいという気持ちで走った。どの順位でも前の選手は抜こうと思った」